

「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の中間評価の結果を踏まえた
今後の取組について

前回協議会で報告した「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の中間評価において、「達成が厳しい状況」となった数値目標について、その達成に向け、次のとおり取り組む。

1 鉄道とアクセスバスの平均待ち時間

(1) 数値目標に対する実績値

基準値	H29	H30	R元	目標値 (R3)
10分 (H28)	9.6分	9.7分	9.6分	8分

(2) 今後の取組

例えば、榎山駅のように、鉄道との平均待ち時間の短い新たなアクセスバスの導入により数値の改善がみられたことから、ダイヤ改正時においては待ち時間が短くなるよう交通事業者間での調整を図ることはもとより、とりわけ、駅発着となるような新たなアクセスバスを導入する際には、待ち時間の短縮化に努める。

(参考) 榎山駅における鉄道とアクセスバスの平均待ち時間

基準値	H29	H30	R元	備考
14.21分	10.56分	10.35分	10.35分	鉄道との待ち時間が短い「らんらんバス（匠台ルート）」の導入（平成29年度）により、平均待ち時間が改善。

2 三木市・小野市の観光入込客数

(1) 数値目標に対する実績値

基準値	H29	H30	R元	目標値 (R3)
733万人 (H26)	748万人	729万人	712万人	970万人

(2) 今後の取組

自然災害や新型コロナウイルスなどの影響により、三木市及び小野市の観光入込客数が減少していることから、本協議会において粟生線沿線地域の観光施設で利用できる企画乗車券を発売することなどにより、粟生線及び沿線地域の観光施設の一体的な利用を促進する。

なお、本年度の「神鉄おもてなしきっぷ」については、従来の飲食店に加え、観光施設も対象店舗となるよう見直しを行ったところである（販売期間：令和2年10月31日（土）～令和3年2月28日（日）、販売実績：899枚（令和2年11月30日時点））。

3 実利用者数及び沿線地域1人当たりの年間鉄道利用回数

(1) 数値目標に対する実績値

基準値	H29	H30	R元	目標値 (R3)
842万人 (H27)	815万人	794万人	784万人	850万人
45回 (H27)	45回	45回	44回	47回

(2) 今後の取組

本年7月に実施した「神戸電鉄粟生線の更なる利用促進に向けたアンケート」の回答内容を踏まえ、取組可能な施策の実施により数値の増加に少しでもつなげていく。